

わかやまをつくり守っています。

わかやまの建設

道路やトンネル、ダム、橋などを作る「土木の仕事」と、工場やマンション、大型スーパーなどをつくる「建築の仕事」。わたしたちの安全で便利なくらしを支えているこの2つの仕事をあわせて「建設の仕事」といいます。いつも歩く道、わたる橋、海や川の水をせき止めるダムや堤防、学校や図書館・病院など、あたり前のようにあるものばかりだけど、実は全部「建設」の力でできているんです。

第3回

土木のしごと 「災害復旧工事」



台風や地震などの災害で道路や橋がこわれると、とたんに生活が不便に。そんな時いち早く復旧に動くのも土木の仕事です。令和4年6月、串本町で土砂くずれが起き、国道がふさがれました。そこで近くの建設会社が出動。道にあふれた土砂を取りのぞき、これ以上くずれないようにブロック。夜通しの工事で朝には無事道が開通しました。

災害復旧の場合は計画的な工事とちがい、いろんなことをその場で判断しなければいけません。道路の反対側にいるスタッフや協力会社の人たちと連らくを取り合いながら、いかに早く安全に開通させるかを考えて工事が進められました。

こんなこと知ってる!?

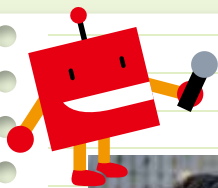
工事現場もICT!

最近では工事現場にもドローンによるレーザースキャンなどを取り入れたICT(情報通信技術)が使われています。今回の災害復旧工事でも、まずドローンを使ったレーザーでくずれた場所の状態を調べました。他の工事でも、レーザーで図面を3D化したり、プログラムで作業車を動かしたり、関係する会社の人とネットでデータを共有したりと、いろんな場面でICT化が進んでいます。そのため、女性や経験の少ない人も現場で活躍しています。



ドローンで撮影した復旧工事現場の様子

この人に 聞きました!



自分の家も自分で建てました。ダイレクトにものができるのは楽しいですよ!

こもりしゅうへい
小森 脩平さん
串本町立串本小学校卒

「頭にあるものが立体化できるんです」

この仕事は自分の知識や知恵で風景を変えていける事。何もなかったところに建物が作れるし、作るものが決まってもやり方はいく通りもあるのがまたおもしろい。そう、建設業って「ものづくり」なんです。ものを作るのが好きであればきっと向いている仕事。ぼくはこの仕事を通じて串本やまちの人たちを大切にしたいです。

知ってほしい、より安心の制度。

法定外労災
補償制度

建設共済保険

公益財団法人 建設業福祉共済団

制度が変わって、安心充実。今すぐ、ご加入を!

掛金負担
が軽減

手厚い
補償

労働者と
企業のリスク
をカバー

一般社団法人和歌山県建設業協会は「わかやま探検ミュージアム」を応援しています。

一般社団法人 和歌山県建設業協会

〒640-8262 和歌山市湊通丁北1丁目1-8
和歌山県建設会館 1F

True Construction Works 知ってほしい、本当の建設業を!

